

蒲都市では、子どもたちの「生きる力」の育成と地域に根ざした学校づくりを、より推進するために、平成16年4月から2学期制を導入しました。

2学期制検討委員会では、導入初年度にあたる本年度、さまざまな角度から検討を重ねています。その取り組みのなかで、市内全小中学校の保護者、児童・生徒、教員を対象に、第1回の「2学期制アンケート」を昨年9月に実施し、第2回を1月に実施しました。今号では第2回のアンケート結果の概要を報告します。

2学期制 アンケート(第2回) 結果の概要を お知らせします



学校教育課

66 1165



子どもたちの夢を育む

2学期制

アンケートの対象および回答数

- 市内全教職員 392人
 - 市内各小中学校の児童・生徒 約千400人
 - その保護者 約千300人
- 小中学校は学校ごとに低学年と高学年から1学級ずつ、中学校は学校ごとに各学年から1学級を無作為抽出し、アンケートを実施しました。



秋休みの感想と 過ごし方

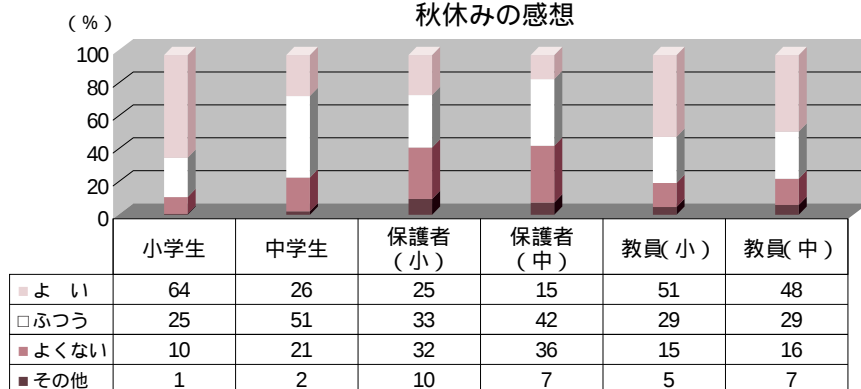
2学期制では、次に示すように新たに秋休みを設定しました。

- ・夏休み 7月21日～8月29日
- ・秋休み 10月第2月曜日の翌日
および翌々日
- ・冬休みおよび春休み
これまでと同様

この点について、子ども、保護者、教員の三者に、「今年新しくできた秋休みについて、どう思いましたか」と質問をしました。

小学生は89%、中学生では77%と高い割合で、「よい」「ふつう」と高い割合で、「よい」「ふつう」と

秋休みの感想



と回答しました。その理由は、「体を休めることができた。ゆったりと過ごすことができた」などが挙げられています。

教員も「よい」「ふつう」合わせて約80%の回答でした。子どもたちや教員に、秋休みが好意的に受け入れられていると考えられます。